

# 100年ぶりの弘前珍百景!

必見!

弘前城が動く!?

ご存じの方も多いと思いますが、弘前城本丸の石垣が100年ぶりに修理工事に入ります。「いつから工事が始まるの?」「お城がなくなるの?」といろんな疑問があると思います。ということで、工程と経過をわかりやすく紹介します。完成まで10年もかかるとはいえ、こんな歴史的瞬間にたち会えるのは今だけ。その工程のひとつひとつが、今しか見られない貴重な瞬間です。全国的にでもお城が動くのはなかなか見られない光景なので、曳屋(ひきや)される時期はぜひ弘前公園へ!

みなさんこんにちは!!  
たか丸くんです!!  
弘前城本丸の石垣が100年ぶりに  
修理工事に入るんだ!  
その工程を僕がわかりやすく  
おしゃるよ~!



工事のために、  
な、なんと弘前城が移動するんだ!!!  
たか丸くんもびっくりだぞ!!

①  
平成26年  
10~11月

内濠の埋め立て

弘前城天守(弘前城史料館)へは、  
例年通り11月23日まで入館できます。  
本丸・北の郭へも入場できます。



工事開始

いよいよ石垣修理工事に着手。  
現在の計画では、はじめに修理範囲全体の石垣を解体。  
積み直しは2工区に分け、南側の天守台付近から行う予定。  
※天守は、移設先で公開します。

明治・大正時代の石垣修理

弘前城の石垣修理や曳屋は今回が初めてではなく、明治・大正期にも行われています。明治29(1896)年に天守台下の石垣が崩壊したため、弘前城を西側へ曳屋しました。修理工事は弘前市内の洋風建築などに名を残す同市出身の大工棟梁「堀江吉吉」によって行われ、翌年無事完成しました。しかし今度は北側の石垣が崩落し、盛岡工兵隊が工事をを行い、修理を終えたのが大正5(1916)年でした。

元の弘前城  
だね!



以上が、弘前城本丸石垣修理工事の工程です!  
みんな、100年ぶりの珍百景を見逃すな!!

②  
平成26年  
11月末~翌3月

調査・搬出

天守の建物基礎部分の調査や  
展示品の搬出を行います。

11月末から  
内濠を埋め立てるよ。

どんどん  
運びます!

がらがらがら~

いよいよ工事が始まります!  
完了まで長い期間かかるけど  
見守ってね。

工事中

5

平成27年  
8月~10月

③  
平成27年  
4月末~5月

さくらまつり期間

2015年のさくらまつり期間中は  
まだ天守は今の場所にあります。

展示品はないけど、  
天守の中は  
見学できるよ。

工事の準備

さくらまつり終了後、天守は閉館。  
本丸・北の郭には、引き続き  
入場が可能です。

そしていよいよ! お城が...

高さ14.4メートル  
総重量約400トンもの  
弘前城が、約3か月かけて  
移動するのは必見!

本丸(有料区域)

ココへ移動!!

内濠

天守

下乗橋

WC

二の丸

曳屋とは…

建造物を解体せずに、そのままの状態で  
移動する建築工法。曳屋技術の原点は、  
今から5000年前の古代エジプト文明で  
大きな建造物を造る際に利用された  
「テコ」と「コロ」の原理を応用  
した技術だとされている。

移動後の風景…

現在

ココ

お城が  
うござった!!

天守曳屋後